

**海外の医療の流れと
これからの日本の医療
～治療方法の見直しと今後の流れ～**

合同会社小林予防医学研究所

小林 一三

海外（先進国）での医療の流れ

- 伝統的医療（薬草等）



- 近代医学（投薬、手術、科学的治療など）



- 代替医療の併用

ボディワーク（カイロプラクティックなど）

魂の治療（手かざし療法、催眠療法など）

食事療法

西洋から発達した近代医学

- 検査至上主義
 - 検査で見つけられないものがある
- 単一物質を用いた薬による治療
 - 副作用の問題
 - 服薬に頼りすぎる
- 手術により、患部除去または整形

代替医療とは

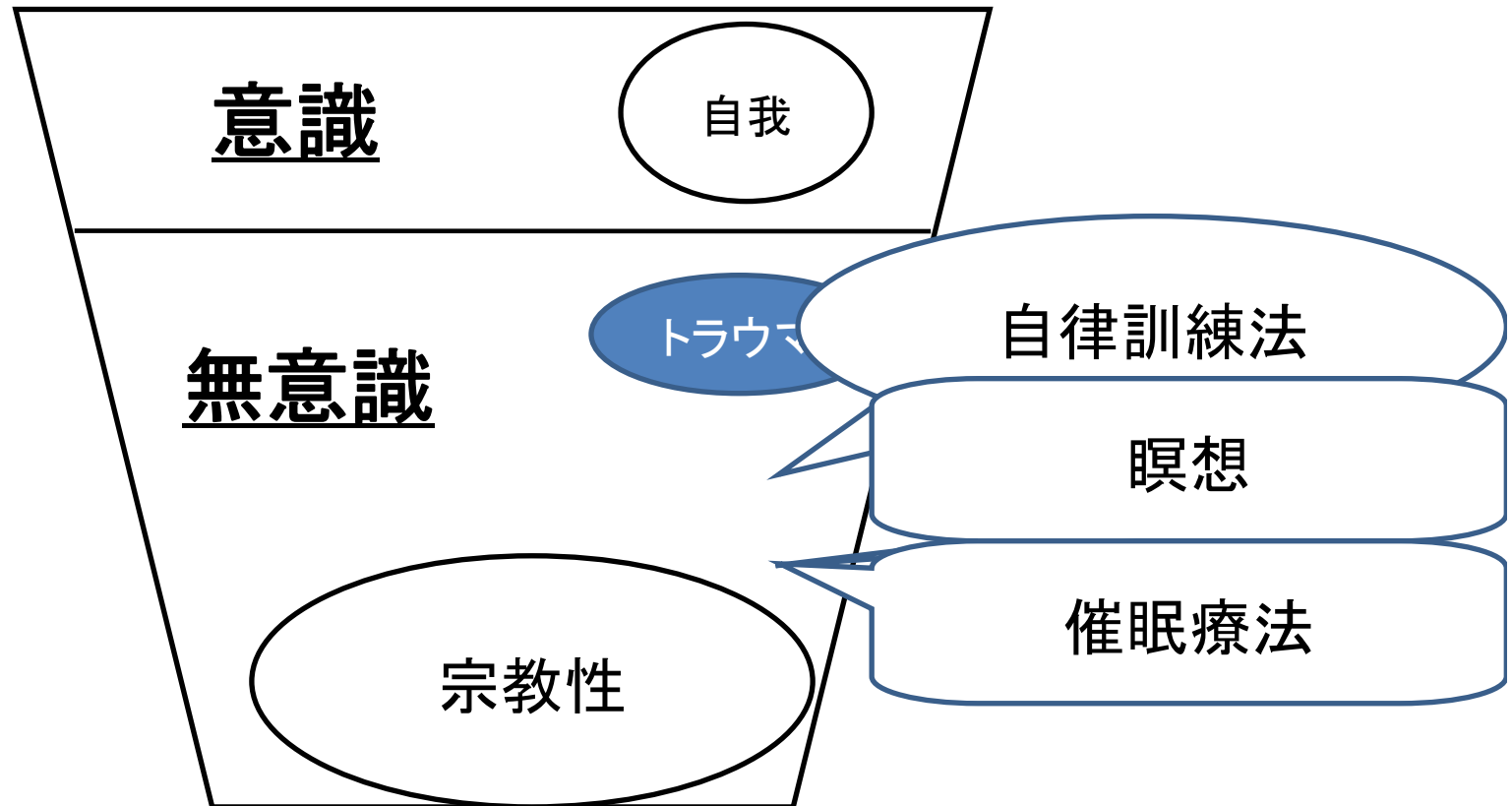
基本的に薬品投与や外科手術に頼らず、自然治癒を促進させるような体系のありとあらゆる治療法が含まれる。

- キネシオロジー、アロマセラピー（西洋）、按摩（中国・日本）、オーラセラピー、オステオパシー、音楽療法、温熱療法、カイロプラクティック（米国）、気功（中国）、灸（中国・日本）、催眠療法、指圧、自然療法、手技療法、スピリチュアルヒーリング、鍼灸、柔道整復（日本）、整骨療法、整体、操体法、西式健康法、野口整体、ホメオパシー、マクロビオティック、マッサージ、瞑想、薬膳、ヨーガ、リフレクソロジー、レイキ

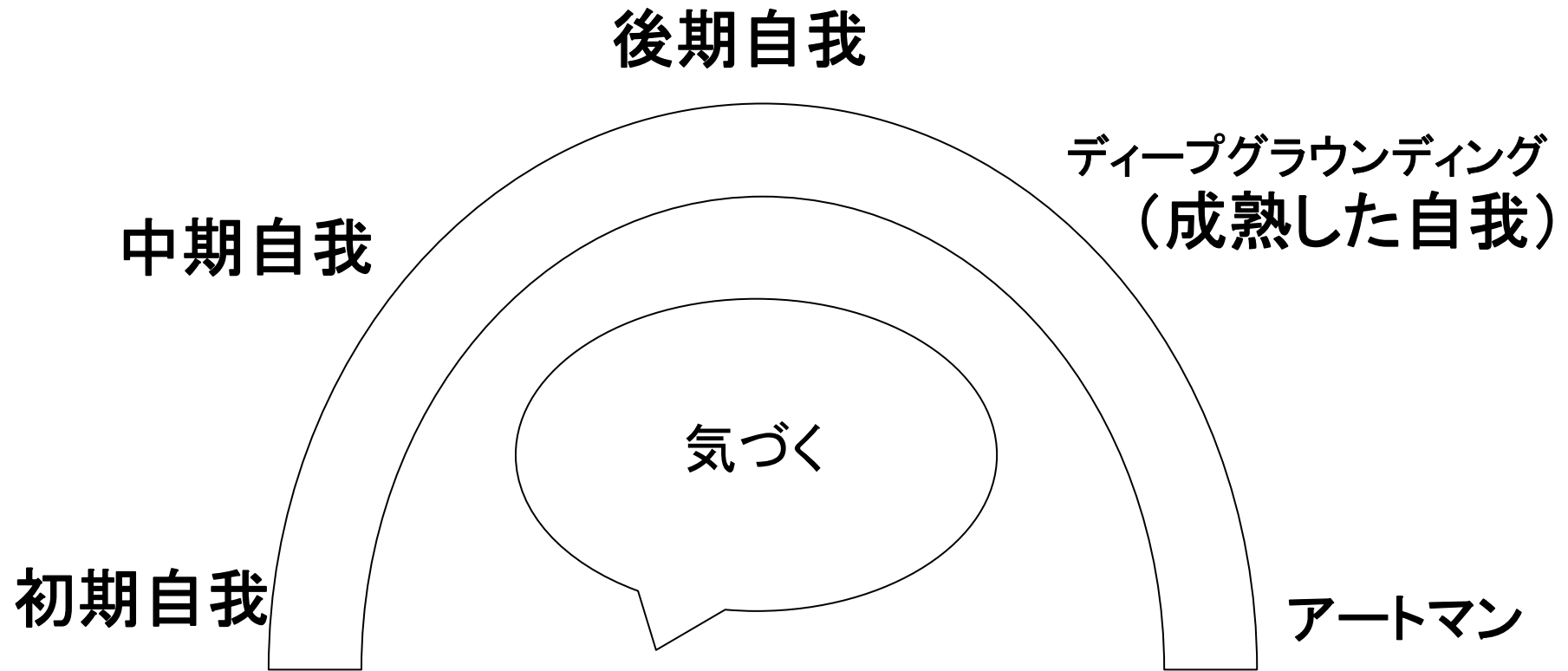
病気を防ぐポイント

- 意識の成長と進化を促す
スピリチュアルな生活
- 食事に気をつける
胃腸にやさしい食事
陽の食事
- 体の癖、心の癖をつけない

意識と無意識（潜在意識）



意識の成長と進化

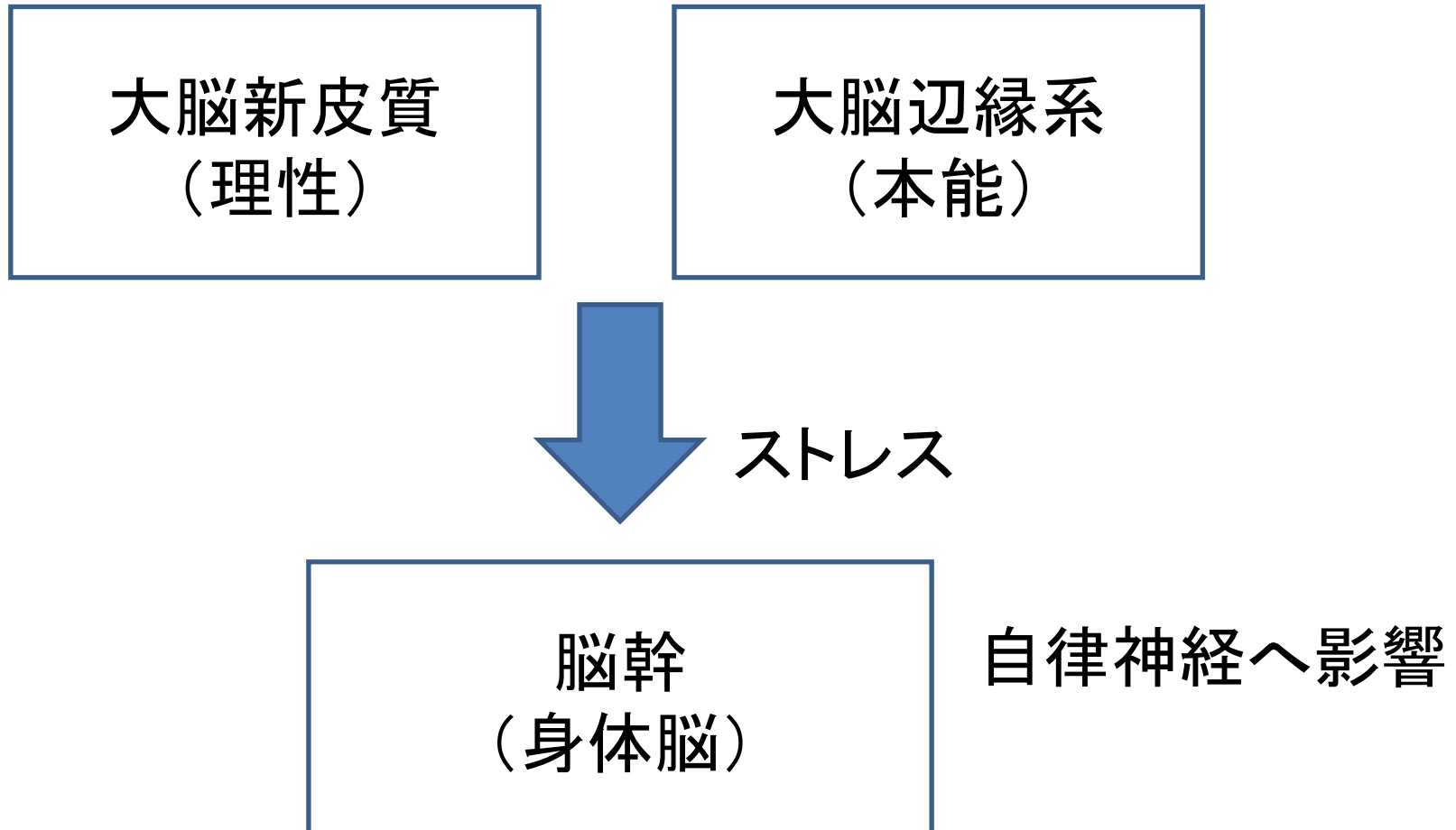


天外伺朗 (土井利忠)

7つの習慣では

農場の法則	学校の法則
プロセスが大切	一夜漬けもあり
協力が必要	競争のみ
自然の偉大さへの憧憬	人が作ったもの
毎日の積み重ね	一時的でも良い
本質重視	テクニック重視
動かさない	すぐ崩壊する

脳内の状況と病気の関係



自律神経とは

相反する『自律神経』の働き

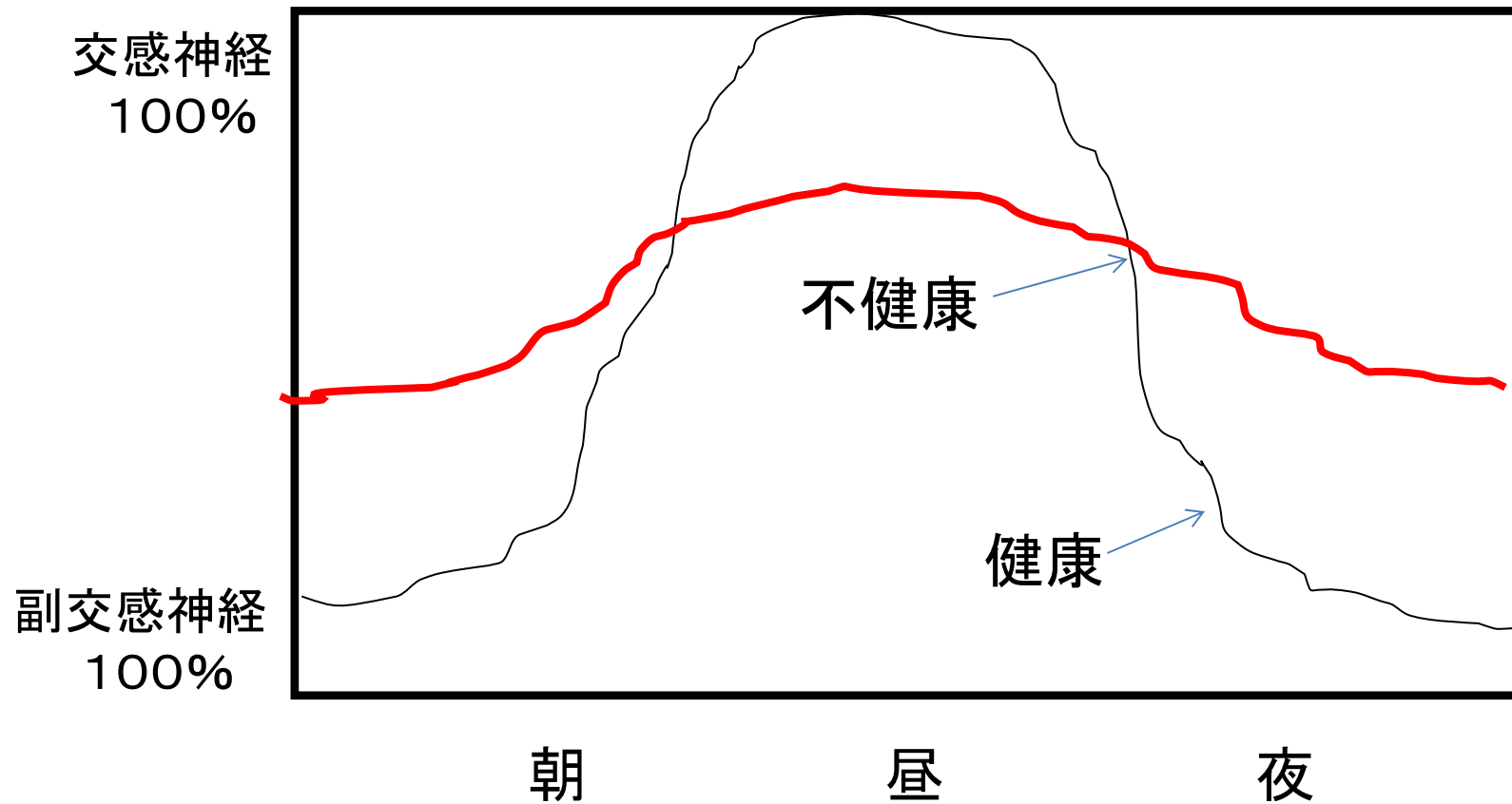
交感神経が優位になると

- §血管を収縮し血圧を上げます。
- §心拍を上昇し、心臓の働きを活発にします。
- §胃腸の働きが抑制されます。
- §唾液の量は少なく、濃くなる。
- §気管支が拡張します。
- §排泄が抑制されます。
- §瞳孔が広がります。

副交感神経が優位になると

- §血管が拡張され、血圧が下がります。
- §心拍が低下し、心臓の働きが抑制されます。
- §胃腸の働きが活発になります。
- §唾液の量が増え、薄くなります。
- §気管支が収縮します。
- §排泄が促されます。
- §瞳孔が縮小します。

自律神経への影響



スピリチュアルによる効果

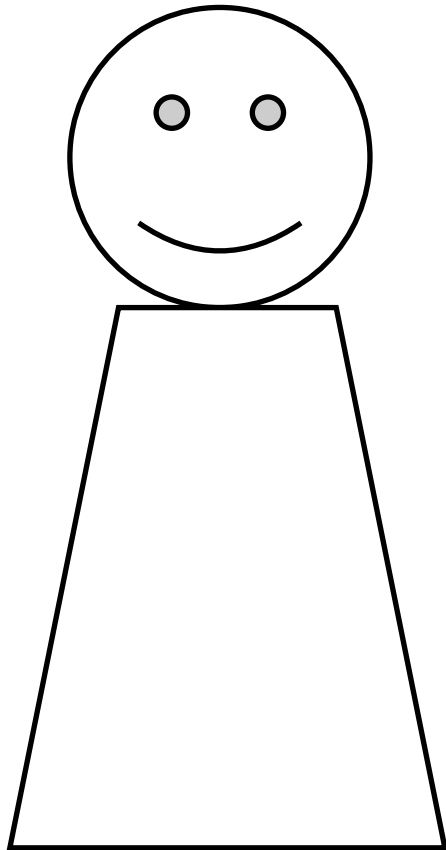
- 気功による効果

気功とは、脳の生命中枢の動きを高めることによって、病気を治し、健康を増進し、さらに気的能力を覚醒させる訓練



星状神経節の機能異常を正常化し、自律神経の異常を調整する。

胃腸（内臓）の重要性

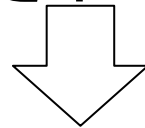


1. 副交感神経が作用することにより活動が活性化される
2. 脳とは別の統制機能を持っている
3. 腸内細菌の影響が大きい
4. リンパ球やセロトニンなどの重要な物質を合成している

アレルギーの例

アレルギー現象

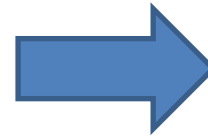
- 腸内の血液、リンパ液の流れ等腸の活動が減退し、腸が堅くなって過敏になっている
- 肉や脂の濃い食事により、悪玉菌優性の腸内細菌相が形成される



- このような状態で、免疫力が落ち、腸が荒れた状態になり、アレルギー反応を起こしやすくなる。遺伝子の型に依存している

アレルギーが増えた原因

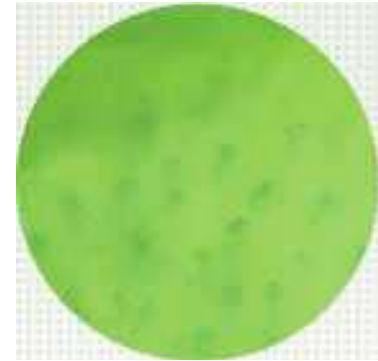
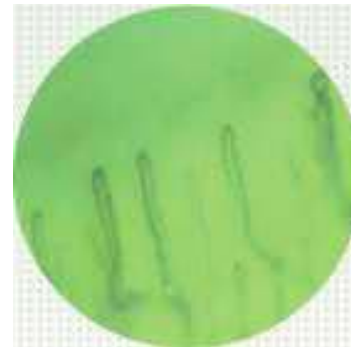
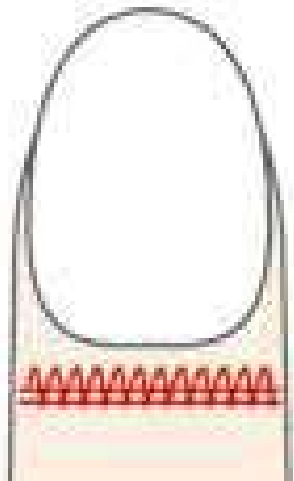
- 早い離乳食（スポック博士）
- ハイハイの時間が減った
- おしゃぶりによる鼻呼吸訓練がない
- 快適な環境で自律神経が弱い
- 胃腸に厳しい食事
- 競争社会（金、地位、名誉への執着）
- 抗生物質の多用
- 湯船につからない



体温が低い（三十六度以下が半数以上）

血管美人

觀察場所(左手薬指)



血管美人



アレルギーを克服するためには

- 自律神経の状態を改善させる
 - 交感神経の緊張を解く
 - スピリチュアルな生活
- 食事を胃腸に負荷がかからないものにする
- オリゴ糖、乳酸菌の摂取
- 口呼吸の改善
- 体の歪みの改善

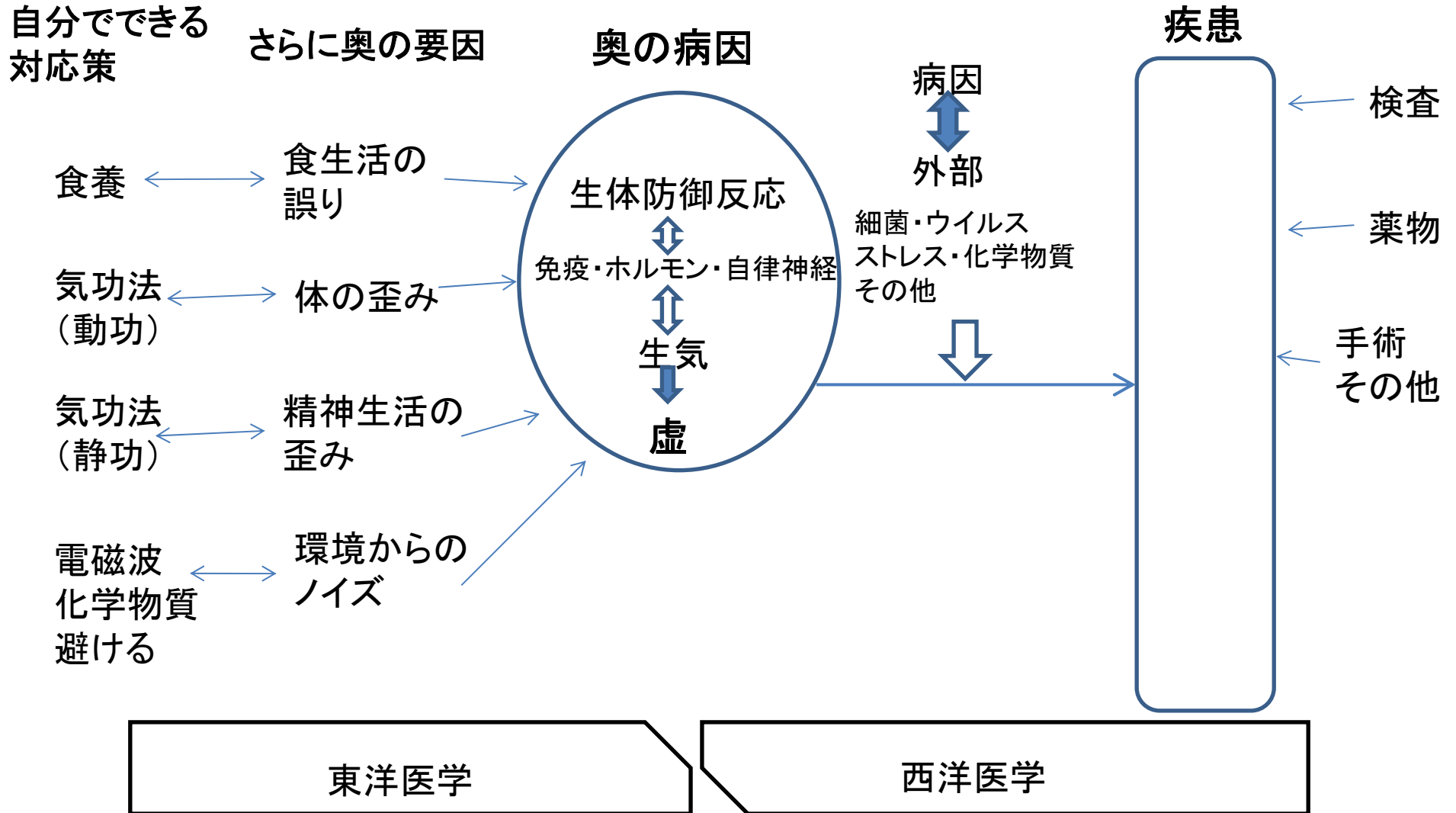
うつ病

- 基本的にはアレルギーと同じ原因機構
- 治療には注意が必要
薬の服用と他の治療との併用が重要
- 不眠症状が先に起こる場合が多いので、この
時点での治療が重要

ホロトロピックセンター構想

	従来の病院	ホロトロピック・センター
A)目的	病気の治療	健康で幸福で豊かな人生
B)対象	病人	すべての住民
C)対応機関	病気のときのみ	生まれてから死ぬまで
D)病気に対する考え方	身体システムの故障	宇宙との不調和のあらわれ、「全体性」へ向かう大切なプロセス
E)主な対応	1)不快な症状の軽減 2)病原部の除去・修復 3)緊急処置 4)検査 5)体質改善(一部) 6)メンタルケア(一部)	1)身体のケア 2)心のケア 3)健康維持のケア 4)魂のケア 5)死のケア 6)受胎、出産、新生児のケア
F)基本姿勢	延命(死を否定)	生のクオリティ(品質)と死のクオリティをともに追求(死を肯定)、ホーリズム
G)経営	1)治療に対する対価 2)健康保険制度 3)病人が多いほど儲かる	1)健康で幸福で豊かな人生をサポートしてくれることに対する対価 2)会員制 3)病気になる人が少ないほど儲かる

病気の生じる流れ



矢山先生